

祝

楠隼高校の一期生も出席
新成人 175名の門出を祝う



成人の主張（一部抜粋）

「大人とはなにか」

吉松大志（楠隼高校卒）

大人についてみんなで考えていきたいと思っています。私たちは本当に大人になれたのでしょうか。少なくとも自分自身は大人になっていないと思います。私にとつての大人とは「学び続ける人」だと思っていますからです。また、大人というのは人によって定義が異なると思います。皆さんにとつての「大人」とは一体なんですか？これからは正解のない課題を与えられる機会が増え、自分で考える力が必要になってくると思います。この力を学ぶということこそが大人になるということだと私は思います。これを「生涯学習宣言」とし、私たちは、今の私たちの環境を構成する家族、友人、先生などの方々に感謝の心を持ち、これからも学び続けることで、それぞれの思う「大人」を目指すことを誓います。成人式を迎えたからと言って自動的に大人になるのではなく、自ら大人にならないといけないという自覚の日だと思っています。皆さん、それぞれの理想の大人を目指しましょう。

「誰かを支えられる存在になりたい」

福永美佳（高山中学校卒）

現在私は、長崎県の大学に通っており、管理栄養士になるため日々勉学に励んでいます。近年、高齢化が進み生活習慣病をはじめとしたさまざまな疾病のリスクが上昇しています。そのため、食生活を中心とした健康づくりや地域の栄養改善など管理栄養士として、将来この地域に少しでも貢献できるように日々の努力を積み重ねていきたいと思っています。私は特に家族からの支えをもらいました。どんなときも笑顔で励ましてくれた父の偉大さ、いつでも味方でいてくれた母へのありがたみをこの20年、身に染みて感じました。私自身も両親のような大人になり、誰かを支えられる存在になりたいと思います。平成から令和へと変わります。平成から令和へと変わります。新たな時代となりましたが、新成人である私達が令和時代を切り開いていかなければなりません。今までは支えられる立場であつた私たちですが、これからは一社会人として支える側となり、社会に貢献するよう精進していく所存です。